

第5回 RI・研究所等廃棄物連絡協議会
議事録（案）

1. 日時 平成22年2月18日（木）10:00～12:00

2. 場所 日本原子力研究開発機構 東京事務所 新生銀行ビル12階
第2会議室

3. 出席者（敬称略）

（委員）

- ・（社）日本アイソトープ協会（RI協会） 石樽、寺井
- ・（財）原子力研究バックエンド推進センター（RANDEC） 菊池、森
- ・（独）日本原子力研究開発機構（JAEA） 三代（議長）、大澤、林道

4. 議題及び配布資料

- （1）議長挨拶
- （2）前回議事録（案） 資料5-1
- （3）委員の変更 資料5-2
- （4）埋設事業の進捗状況について 資料5-3
- （5）「埋設処分業務の実施に関する計画」を踏まえた
今後の協力のあり方 資料5-4
- （6）その他

5. 議事概要

（1）挨拶

三代議長、石樽委員、菊池委員より挨拶。

（2）前回議事録（案）

資料5-1に基づき、事務局より前回議事録（案）について説明し、委員の了承を得た。

（3）委員の変更

資料5-2に基づき、委員変更について紹介があった。

（4）埋設事業の進捗状況について

資料5-3に基づき、事務局より説明があった。

（5）「埋設処分業務の実施に関する計画」を踏まえた今後の協力のあり方について
資料5-4に基づき、事務局より説明があった。主な議論は以下の通り。

- 1) 三者の協力については、当面実施する事項についてロードマップを策定するとともに、廃棄物や埋設事業の意義と公共性等の説明、表現、広報活動の方法の検討等に協力して取組む。

- 2) 協議会の役割については、多重規制廃棄物の処理・処分に関する意見交換、安全規制面や広報活動の方法などの面での情報共有、合理的な処理方法に関する意見交換等の場として活用する。
- 3) 協議会の組織については、必要に応じて WG を設置する際、経営資源、人的資源が限定されることを認識し、テーマ別に所属組織に係らず適任者を選定して一定期間集中的に作業するとともに、達成目標の設定を行い、成果物を作成することとする。

(6) その他

事務局より説明があった。主な意見は以下の通り。

- 1) 処分単価・受託契約について
 - ① 契約形態の種類、瑕疵担保責任の議論等については、検討や議論の要否も含めて専門家による整理を期待する。
 - ② 費用、単価の見直しについて既支払い分については遡及しないことを希望する。
 - ③ 組織間での税務処理方法の整合性の確認をお願いする。
- 2) 本連絡会の名称等について
機構法の改正に伴い埋設対象廃棄物名称が「研究施設等廃棄物」となったため、基本協定の変更無しで、本会を「研究施設等廃棄物連絡協議会」と呼称することとなった。
- 3) 次回の開催時期について
事務局より後日連絡する。

以上